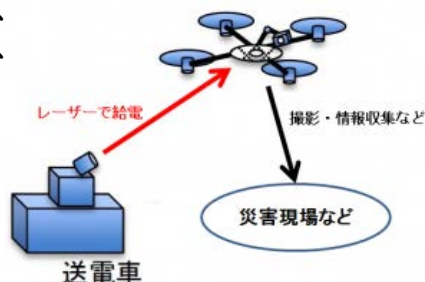


①中小企業研究開発補助金（12,000千円）

ロボット関連技術の研究開発については、平成26年度より行政課題対応枠として補助額上限を200万円から300万円に引き上げて実施

②新技術実用化コンソーシアム形成支援事業（6,000千円）

市内の中小企業者と大学・研究機関等の連携によって、産学の強固な共同研究体制（コンソーシアム）を形成し、新製品・新技術の実用化開発を委託



【平成26年度 開発テーマ】

「小型無人ヘリコプターへのレーザーによる無線給電システムの開発」

公益財団法人相模原市産業振興財団、JAXA、市内中小企業による共同研究

→神奈川県 公募型『ロボット実証実験支援事業』に採択

③第26回 南西フォーラム（※）（平成25年7月9日開催）

※ 地域における企業・大学・支援機関・行政機関などが集い、中小企業の新技術・新製品開発や新分野への進出などにつながる新たな連携を生み出すための交流の場

「ロボット関連産業への参入機会を考える」

→フォーラムの分科会として「ロボットビジネス研究会」が発足
平成25年度は4回の研究会を開催

【開催テーマ】

「中小企業工場が安価に導入できる産業用ロボット市場の今後について」

「ロボット工学研究室の最近の研究成果について」

「次世代ロボット『NEXTAGE』について」

「パワーアシストハンドの研究と中小企業との共同研究について」

「福祉用具・介護ロボットの実用化状況と新規参入可能性を探る」



→平成26年度から「ロボット産業活性化事業」を実施

ロボット産業活性化事業



成長分野であるロボット産業の振興のため、産学連携体による協議会を構成し、市内企業の「介護から宇宙まで」裾野の広いロボット技術力及び営業力（魅力発信力）の向上を図る。

企業の魅力PR事業（5,000千円）

- ・市内中小製造業のロボット関連技術の「見える化」を行う。
- ・技術PR冊子やDVDを作成し、市の広報や展示会、企業HPで広く周知を行う。

ロボット技術高度化事業（4,000千円）

大学や研究機関と企業による数年後の実用化を目標とした先端的なロボット技術の共同研究を支援することで、市内製造業の技術の底上げを実現する。

ロボット技術実用化ネットワーク形成事業（1,000千円）

- ・上記の取組みを推進するための地域のプラットフォームとして協議会を構成し、情報共有のためのネットワークを構築する。
- ・ロボットビジネス研究会等のセミナー活動を実施する。